



宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和7年度 第5号

8月26日 児童数215名

入間市立宮寺小学校

入間市宮寺594-1 電話2934-2014



きれいな心 ～主体的な子供を育てるために～

宮寺小学校 校長 塩澤 榮一

夏休みに、武蔵中学校・狭山小学校と一緒に「こどもの主体性を考える」といったテーマで研修会を行いました。昨年度、保護者のみなさまにもお話しいただいた雨間元良先生の講話をお聞きして、3校の職員で学び合いを進めました。

自主性(的)とは

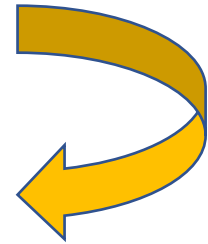
「やるべきことが決められていること」に対して、自ら率先して行動すること。

主体性(的)とは

「何をするべきか決められていないこと」に対して、自分の意志・判断により自ら責任を持って行動すること。

○主体性が育つまで

- ①自主的な行動が認められる
- ②何度も認められることで安心感・自信になる。
- ③「〇〇してみよう」と考えるようになる。



子供たちのがんばりをどんどんほめましよう確認しました。「校長先生の大切なウルトラ7(セブン)」をしっかりと守ろうと指導しています。これは、自主的な動きとなります。くりかえし指導することでの成長をほめることで自信を持ち「よし、〇〇もがんばろう」といった思いが生まれてくるのが楽しみです。授業の場面でも、子供たちが主体的に動き、「楽しい授業」となるような「主体的な学び」を進めていきます。そのためにはどのように授業を進めたらよいか、本校職員はこの2学期、じっくりと学びます。



主体的におどったソーラン節

校長の学び「今月の読書」



ピアニストを目指す子のなかには、ふだんから指にケガをしないように手袋をしている子もいますし、スキーや水泳、まして登山などしてケガをしたらどうすると考えるのが常識です。ところが伸行君とお母さんは、そんな常識とは違う考え方を身につけていました。8歳のときモスクワで出会ったカステルスキー先生が語ってくれた「この子は心が美しい、練習ばかりさせないでいろいろ体験させてあげてください」という言葉を宝物にしていたのです。「ピアノはともだち 辻井伸行の秘密」こうやま のりお こうやま先生には7月にご来校いただき、6年生に作文指導をしていただきました。書くこと、読むことの楽しさをたくさん学ばせていただいています。